



ヤングケアラー研修

2月21日(土)25名の参加で、佐賀市社協の馬場さんによる～“ヤングケアラー”を正しく理解することからの始まり～と題して、令和6年にヤングケアラーマニュアルが作成されたことを話され、子どもたちには、生きる権利、育つ権利、守られる権利があると講話がありました。また、嘉瀬地区民生児童委員会長の山下一徹様の嘉瀬地区での活動について、家庭訪問を実施して子どもたちを見守っていると話されました。



高齢者サロン代表者会議

令和8年3月10日(火)に各単位サロンの代表者と会計担当で開催しました。

市社協職員の藤満さんよりサロン事業の資料に基づき説明されました。また、7サロンの活動状況を発表され、和気あいあいと会議を終えることができました。



金立あんしんカードの更新

一人暮らしの高齢者や健康に自信がない高齢者に配布している「金立あんしんカード」の内容が変わったら、担当民生委員まで連絡してください。

カードは、緊急時に消防の方に活用していただく為、冷蔵庫に貼っていただくようお願いしています。

寄付お礼

北島清澄 様 《故 北島陽子様》

追善供養として ご寄付いただきありがとうございます。
校区の福祉向上事業に活用させていただきます。



編集後記

校区社協では、「賭けない」「吸わない」「飲まない」3ない健康マージャンを開催して2年になり、脳トレに功を奏しています。



金立校区

社協だより

2026年春号

金立校区社会福祉協議会
会長 鐘ヶ江 博文

事務局/金立公民館内
金立町大字千布2333-2
TEL(0952)98-1016

令和7年度の主な活動

令和7年度金立校区社会福祉協議会総会が、令和7年5月11日(日)金立公民館大会議室で、役員及び理事並びに会員、45名の参加で開催されました。

※提案した令和6年度の事業報告および決算、令和7年度の事業計画および予算は審議の結果承認されました。



福祉協力員委嘱状交付式・研修会

5月31日(土)、令和7年度福祉協力員委嘱状の交付式が行われました。

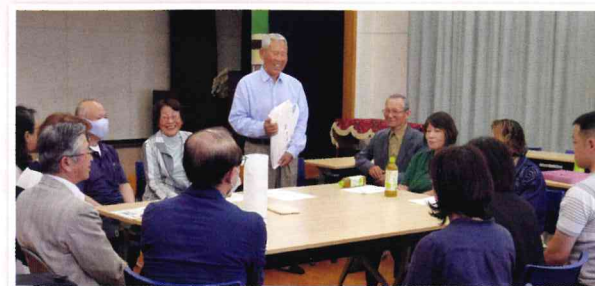
鐘ヶ江会長が、代表の石丸順子様へ委嘱状を渡された後、佐賀市社会福祉協議会地域支援課北エリアの藤満晶子様による「福祉協力員とは」～地域で行う見守りの必要性～と題しての講話がありました。

見守り活動は、「そっと見守る・変化があればつなぐ」。見守りのポイントとして、新聞や郵便物が溜まっている、カーテンや雨戸が締めきりっぱなし、電気が点いていない、姿を見かけないなど、変化に気づき自治会長や民生委員につなぐ。

このつなぐ仕組みのひとつが福祉協力員です。

おたっしや本舗金泉の石橋信親様による「おたっしや本舗の役割」について、を福祉協力員と民生委員の連携事例を通して説明がありました。

その後、町区ごとに自治会長及び民生委員並びに福祉協力員を囲んでの自己紹介と意見交換会が行われました。



多世代交流

8月17日(日)、地域の子どもたちを招いて長生会の皆さんや親御さんたちと、そうめん流し、ビンゴゲーム、すいか割りなどで多世代交流会を実施しました。

手作りの竹にそうめんを流し、箸を立ててすくって上手に食べている姿がとても微笑ましく、目を奪われました。ビンゴゲームもとっても賑いました。



昔遊び

小学校授業の一環として小学1年生を対象に昔遊びを11月4日(火)に体育館と運動場で実施しました。

種目は昨年同様、竹馬、独楽回し、竹トンボ、メンコ、おはじき、お手玉、ゴムとび、羽根つきなど、昔遊びの達人に教えてもらい、子どもたちはコツを覚え、次つぎにチャレンジして成功したら満面の笑みで鼻高々でした。



ふれあいの集い

今年は、11月11日(火)金立公民館大会議室で、65歳以上の一人暮らしの方82名の参加で開催しました。

市社協会長伊東博己会長様から「一番目に運動、二番目に食事特にたんぱく質を摂ること、社会との繋がりを持つこと」と祝辞をいただきました。

今年は、千布幼稚園園児の遊戯や歌など披露してもらい、ちっちゃな手と手を合わせて「ふれあい」を楽しんでいただきました。

また、演芸の部では、琴聯会の方々から大正琴の素晴らしい演奏で千曲川など三曲を披露していただきました。バイオリン奏者の馬場さんには、楽しいトークと演奏やイントロ当てをして、一緒に口ずさみ楽しそうでした。

加えて、めばえ会の皆様のレクダンスや踊りを披露していただき目の保養になりました。(認知症には無縁のめばえ会の皆様です)

昼食には、食生活改善推進員の皆様による美味しい豚汁を出していただきました。



第2回福祉協力員研修会

11月29日(土)にNPO法人孤立防止センター理事長の速水靖夫氏による「現場から見た孤立死防止」(セルフネグレクト孤立死)について講話がありました。SOSを出せることが大切。助けて!と言えないからセルフネグレクト孤立死の予備軍になる。そうさせない為の心「家族を愛する心」「人を愛する心」「互いを思いやる心」と、また、孤立しない・させない三つの心が孤立死を防止することに繋がると力説されました。

1. 目配り一周囲に目を向ける心
2. 気配り一相手のことを考える心
3. 心配り一いつでも手を差し延べる心



健康講座

12月9日(火)、25名の受講者に対して、住み慣れた地域で「しあわせ」に暮らし続けるための講座を佐賀県作業療法士の皆さんにご指導いただきました。

体が不自由になった時の段階に応じた杖や安全な車椅子の選び方。コップ、はし、スプーンなどの食器類も使いやすく工夫されていました。使ってみて便利な道具があったら安心して生活出来ることがわかりました。



視察研修

2月10日(火)、唐津市立呼子小学校の近くにある、子どものたまり場「ぼかぽか」へ視察研修を実施しました。

川崎書道教室～子どものたまり場がある～

放課後、学校に行ってる子も、行っていない子も誰でも集まれる場所が「ぼかぽか」です。代表の川崎さんは、ご自分の体験を交えながら話されました。

子どもたち独りで遊びを考え、行動する自由な空間があり、伸び伸びとした環境がここにはあると感じました。

